

猛暑・温暖化対策は西日本の酒米「山田錦」の栽培
「山田錦プロジェクト 2024」新潟予選初開催
新潟産山田錦でグランプリ 3,000万円(60俵)を目指す

○ 生産者努力では解決できない温暖化 ○

異常な高温は、人間が熱中症になるように稲にも多大な影響があります。これを生産者の努力や農業技術では解決できません。現在、一番有効な方法と考えるのは「西南暖地」の米を新潟で栽培することが対策の特効薬でした。

10年前から新潟県では栽培不適地と言われた山田錦の栽培に取り組み、何人もの生産者が挫折しました。しかし、新潟農家の「意地とプライド」で試行錯誤を重ねながら高品質な山田錦を栽培できるようになりました。

○ 目指すは世界一の山田錦 ○

「最高を超える山田錦プロジェクト」は「獺祭」蔵元の旭酒造が主催し来年で6回目。出品は60俵でグランプリには賞金が3,000万円。準グランプリは1,000万円。予選を通過すると300万円（通常の価格の倍以上）が確定。残念ながら新潟県からは予選を通過した生産者はまだいません。

今年は26名の生産者、団体が出品予定。12月19日に山口県で行われる予審に新潟から出品する代表の予選会を開催します。



日時：令和6年10月29日(火)予選開始 9：00～

場所：(有)エコ・ライス新潟倉庫 長岡市脇川新田町字前島 970-100

参加者：新潟県内山田錦栽培生産者 26名

審査法：県農産物検査員5名、旭酒造精米担当者の目視、及び、品質判定機

※審査基準は高度精米に耐える「獺祭」が望む世界に通じる品質

ゲスト：旭酒造(株)取締役製造部長（杜氏） 西田英雄 氏



お問合せ先：新潟県山田錦協議会 担当：豊永、雄勝(オカツ)

〒954-0181 長岡市脇川新田町字前島 970-100

Tel：0258(66)0070 Fax：0258(66)0447

office@eco-rice.jp HP：<http://www.eco-rice.jp/>

